

“ネオ・クラシカル”魅惑のアン・コルギンの情熱とカリフォルニア・カールトワインの中でも妥協なき優美さへの探究

オーナーのアン・コルギン女史は、1992年コルギン・シュレイダー・セラーズを設立。前夫フレッド・シュレイダー氏と離婚後はコルギン・セラーズとなり、現在は再婚し夫ジョー・ウェンダー氏と共に、ロバート・パーカーに「葡萄栽培の桃源郷」と言わしめたプリチャード・ヒルにあるナンバー・ナイン・エステートにて究極の優美さを目指したワインを紡ぎ出す。この自社畑からのワインと、ナパのトップクラス畑の買い葡萄によるワインは、違うテロワールからであっても「コルギンの優美さ」をまといパーカー100点を連発するワインが造られる。2017年にルイ・ヴィトン・モエ・ヘネシーグループの傘下に入り、ラグジュアリー・ブランドの名声を得る。2018、2019VTGと続けてIXレッドとティクソンヒルがパーカー100点を獲得。



限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	"IX Estate" ナンバー・ナイン・エステート	Napa Valley	赤	2014 蔵出	750	¥140,000	Parker Point 98+P 在庫僅少
毎年比率は違うが、おおよそ、カベルネ・ソーヴィニヨン65%、メルロ20%、カベルネ・フラン10%、プティ・ヴェルド5%で構成される。それぞれの品種が競うかのよう個性をきらめかせ、幾重にも重なる複雑味はより深く、旨味としなやかなタンニンが折り重なる。驚くように長い余韻を持つ完璧なワインに仕上がっている。若くても生き生きとした味わいを楽しめるが、熟成させることにより更なる深みと気品が生み出される。							
	"Tychson Hill" ティクソン・ヒル	Napa Valley	赤	2019	750	¥125,000	Parker Point 100P 完売
カベルネ・ソーヴィニヨンがほとんどで、カベルネ・フラン、プティ・ヴェルドが数割のみ植えられている。セント・ヘレナの少し北、スプリング・マウンテンの裾野に位置する1.6ha地所は1881年にナパで初めての女性オーナー「ジョゼフィーヌ・ティクソン女史」により植樹された歴史的な畑である。1997年にアン・コルギン女史が0.4haの区画を獲得し。この土壌は、とびぬけて薫り高いアロマを授け、極めて優美なコルギンが目指すワインの特徴を表現する畑である。							
	"CARIAD" カリアド	Napa Valley	赤	2019	750	¥125,000	Parker Point 99P 完売
「カリアド」とはウェールズの言葉で、「愛=LOVE」を意味する。ポルドー・スタイルのこのワインは偉大なる栽培家デビット・エイブリーユの3つの自社畑、マドローナ・ランチ、ソレヴィロス、ハウエル・マウンテン（ルチア）から、カベルネ・ソーヴィニヨン、メルロ、カベルネ・フランのブレンド。味わいは、完全にクラシックスタイルの外観を形成し、内包するものは、過剰なほどの鮮やかなアロマ、官能的なアタックが口中に広がり、非の打ち所のないバランスと他に例を見ないほどの長い余韻。名前に負けない魅惑的なワイン。							
	"IX Estate" Syrah ナンバー・ナイン・エステート シラー	Napa Valley	赤	2019	750	¥65,000	Parker Point 98+P 完売
ナンバーナイン・エステートのシラーの区画は04haづつの4つの区画。クローン、台木のコンビネーションもそれぞれ土壌や気象条件に合わせて最良のものを選び、全く違う個性が現れている為、別々に醸造。味わいはパルマ・ハムのような少し塩分が感じられ、鴨のロースト、ダーク・チョコレートなどの味わいが次々と現れます。全体を引き締める酸が、決して濃いだけのカリフォルニア・シラーに留めません。							

Colgin Cellars IX Estate Red Wien 2017



colgin



Ann Colgin, Founder & Co-CEO

Ann Colgin / アン・コルギン女史/オーナー



“ネオ・クラシカル”魅惑のアン・コルギンの情熱と カリフォルニア・カルトワインの中でも妥協なき優美さへの探究

オーナーのアン・コルギン女史は、1992年コルギン・シュレイダー・セラースを設立。前夫フレッド・シュレイダー氏と離婚後はコルギン・セラースとなり、現在は再婚し夫ジョー・ウェンダー氏と共に、ロバート・パーカーに「葡萄栽培の桃源郷」と言わしめたプリチャード・ヒルにあるナンバー・ナイン・エステートにて究極の優美さを目指したワインを紡ぎ出す。またナパの歴史的に貴重なティクソン・ヒル(自社畑)と、ナパのトップクラスの買収葡萄によるワインは、遡るテロワールからであっても「コルギンの優美さ」をまといパーカー100点を連発するワインが造られる。

オーナー・アン・コルギン女史と夫のジョー・ウェンダー氏(銀行投資家であり、膨大なプレミアム・ワインのコレクター)は、2002年には、ブルゴーニュ・ボヌの伝統あるメゾン・カミュー・ジローを買収し、オールド・ファッションのメゾンに、有望な醸造家・ダヴィッド・クロワ氏(Domaine des Croix)を配し、近代的な設備を導入。昔ながらの個性を保ちつつ、現代にあったメゾンに復活させている。二人のワインに対する情熱は留まるどころを知らず、最高品質のワインを造ることに真摯な姿勢を貫き続けている。2017年にルイ・ヴィトン・モエ・ヘネシーグループの傘下に入り、夫妻は40%の株を保有し続け、体制はそのままに資金力のバックとラグジュアリー・ブランドの名声を得る事となった。最高のテロワールはCh. シュヴァル・ブラン、Ch. ディケム、Dm. クロ・デ・ランブレと並び称される。

下の写真 プリチャード・ヒル急斜面にあるナンバー・ナイン・エステート ワイナリーと自社畑



Promised Land 約束の地 ~ プリチャード・ヒル ~

ナパ・ヴァレー中央部の東側山斜面にあるレイク・ヘネシーの南側に広がるプリチャード・ヒルには、綺羅星のごとく輝くワイナリーが、畑の開墾に膨大な労力をかけて、類まれなるワインを造り出している。コルギン、シャペレー、プライアント・ファミリー、デヴィット・オーサー、オーヴィッド、コンティニューム、ロング、ブランド、メランソン・・・。有名ワイナリーやこれから注目を集めるワイナリー様々である。大きな岩が地中にあるこの地を開墾するには金額的に膨大な投資が必要である。ワイナリーの設備、ヴィンヤード・マネージャーやワイン・メーカー、有能なスタッフにも投資を惜しまず、情熱と忍耐力を持ち、夢を現実にする強い意志を持つオーナーのみに与えられる珠玉のワイン。おのずとついてくる高い評価。約束の地でのワイン造りは誰にでもかなう夢ではない。セント・ヘレナから東側の山斜面に車を進め、レイク・ヘネシーの南側に沿って走ると、このプロミスド・ランドへの入り口が見えてくる。完璧に舗装された道、点在するリゾート地のような邸宅の数々。ナパのピバリー・ヒルズに入る感である。いや、ナパのグラン・クリュ街道となるかもしれない・・・。

ポール・ロバーツ氏(マスター・ソムリエ)、 ミシュラン星最多獲得請負人はパーカー100点も請け負う 2013年より社長に就任。世界トップのラグジュアリー・ブランドに昇華させた。 アメリカ・ソムリエ業界の最高権威コート・オブ・マスター・ソムリエであり、 フレンチ・ランドリーのワイン責任者、ボンド・エステートの支配人の実績。

1972年テキサス生まれ。テキサス大学時代ワインの魅力に取り憑かれ、ヒューストンでワインショップ勤務から始まり、ソムリエ経験を経て、2002年に世界で48番目のコート・オブ・マスター・ソムリエを取得。コンテストでも特筆すべき成績でクリュッグ・カップ優勝など輝かしい受賞歴を経て、2003年にトーマス・ケラー・レストラン・グループのワイン・ディレクターとなり、ナパ・ヴァレーに移住。三ツ星レストラン「フレンチ・ランドリー」のワイン監修を務める。現在までミシュランの星を10個獲得し、全米でミシュラン星獲得数が一番多いソムリエという称号を得る。2008年「ボンド・エステート」の支配人となり、全世界でボンドの知名度を上げることに邁進。そして2013年より、その手腕を買われ、コルギン社長に就任。アン・コルギンが目指す究極のエLEGANCE、世界のラグジュアリー・ブランドとなるまで、ポール・ロバーツが持つ審美眼を余すことなく辣腕を振る。



Paul Roberts
ポール・ロバーツ
社長、マスター・ソムリエ

Allison Tazuet
アリソン・トージア
ワイン・メーカー

アリソン・トージア
(ワイン・メーカー)
醸造化学専攻。
ボルドーにて学んだ後、帰国。
フアー・ニエンテにて創業者
ジル・ニッケル引退前に師事を受
ける。
2005年よりコルギンのアシス
タント・ワインメーカーとな
り、オーナー・アン・コルギ
ンにその才能を買われワイン
メーカーに就任。ポール・ロバ
ーツ社長と共に究極のエLEGAN
CE「コルギン・セラース」の信
念を体現している。



Four Wines (現在4つのワインがラインナップ)

- “IX Estate” Red Wine 「ナンバー・ナイン・エステート」 レッド・ワイン
(自社畑・プリチャード・ヒル 6.47ヘクタール
植樹率: カベルネ・ソーヴィニヨン63%、メルロ20%、カベルネ・フラン11%、プティ・ヴェルド6%)
- “IX Estate” Syrah 「ナンバー・ナイン・エステート」 シラー
(自社畑・プリチャード・ヒル 1.61ヘクタール シラー100%)
- “Cariad” 「カリアド」
(セント・ヘレナ市街地の西、なだらかな斜面にある3.18ヘクタールの区画から。
植樹率: カベルネ・ソーヴィニヨン53%、メルロ30%、カベルネ・フラン8%、プティ・ヴェルド9%)
- “Tychson Hill” Cabernet Sauvignon 「ティクソン・ヒル」 カベルネ・ソーヴィニヨン100%
(自社畑・セント・ヘレナ市街地の北、スプリング・マウンテン裾野にある2.4ヘクタールの区画)

「ナンバー・ナイン・エステート」 ナパ・ヴァレー レッド・ワイン

2019 “IX Estate” Napa Valley Red Wine

小売価格 125,000 円(税別)

極上のワイナリーが集まるプリチャード・ヒルにある自社畑の名前を「ナンバー・ナイン・エステート」と呼び、標高約 335-427m のナパ・ヴァレーを見下ろす高台に 50ha の土地を所有。巨石が埋まる急斜面を開墾し 8ha にカベルネ・ソーヴィニオン、メルロ、カベルネ・フラン、プティ・ヴェルド、シラーを 1990 年代後半に植樹。この畑からは、2 種類のワイン、Red Wine と Syrah を造る。ワイナリーもここにあり、コンパクトながら、醸造しやすいように細部にまで神経を配り、豪華で凝ったデザインの最新設備が備わる。もう一つの自社畑・セント・ヘレナにあるティクソン・ヒルとディピット・エイブリーユのマドローナ・ランチから調達し造るカリアドもこのワイナリーに葡萄が持ち込まれ醸造される。

ナパ・ヴァレー・レッド・ワインはボルドー・ブレンドで毎年ブレンド比率は違う。IX レッドの植樹率はカベルネ・ソーヴィニオン 63%、メルロ 20%、カベルネ・フラン 11%、プティ・ヴェルド 6% を毎年精査してブレンド。(2019VTG Cabernet Sauvignon 73%, Cabernet Franc 16%, Merlot 6%, Petit Verdot 5%)

それぞれの品種が競うかのように個性をきらめかせ、幾重にも重なる複雑味はより深く、旨味としなやかなタンニンが折り重なる。驚くように長い余韻を持つ完璧なワインに仕上がっている。若くても生き生きとした味わいを楽しめるが、熟成させることにより更なる深みと気品が生み出される。

2019 年ヴィンテージ・コメント (ポール・ロバーツ社長)

2019 年は前年の 2018 年と同じように素晴らしいヴィンテージとなった。冬に十分な雨が降り 5 月まで続き、葡萄の樹は生き生きと成長したが、湿気も多かった為、枝の伸びと葉と葉の間隔を空けて風通しを良くする調整が重要となった。十分な雨と順調な夏の気候が葡萄の成長を助け、通常であれば多くの房と大きな果実を付けることになるが、コルギンの栽培管理チームのたゆまぬ努力により、房の数を調整し、果実が大きくなりすぎるのを管理し、小ぶりで凝縮した果実になるよう促した。9 月は非常に順調な気候が続く葡萄はゆっくりと成熟し、10 月中旬には夜も日中も気温が下がりが、フレッシュで酸をキープし、味わいも香りも十分に凝縮した素晴らしい果実を収穫できた。このヴィンテージは凝縮したシルクの様な口当たりのタンニンが特徴ながら、中心にはしっかりととした力強さを秘めている。若いうちも十分にこのヴィンテージのポテンシャルを楽しめ、長い瓶熟が果実の味わいに更なる複雑さと深みを加味していく。

ワイン・メーカー/アリソン・トージア女史のコメント

2019 年はまだまだ若々しい鮮やかな果実のニュアンスが前面に出ているが、IX エステートの特徴的なキャラクターが溢れている。ブラック・チェリー、ハックルベリーなどのベリー系の魅力的な香り、スパイス系のセージやジュニパー・ベリー、ボブリの豊かな香り、砕いた岩、鉄分、鉛筆の芯を感じさせる力強いミネラルの香りが複雑に交じり合う。味わいはピュアでゴージャスな果実が全体に広がり、タンニンは滑らかで凝縮感が無く口中心地よく広がり、なめらかなフィニッシュへと導く。将来的に更に多くの複雑な要素が現れてくる絶妙な仕上がり。

Parker Point 100 (Wine Advocate end of Oct 2021) by Lisa Perrotti-Brown/リサ・ペロッチー・ブラウンのコメントより

コルギンらしく様々な香りの要素が次々と立ち上がる。ブラック・ベリー、プラム、クレーム・ド・カシス、鉛筆の芯、スターアニス、ワイルドセージ、インド系スパイス、ラベンダーなど。豊かでフルボディの味わいは、非常に堅固で、絶妙に熟したタンニンと素晴らしい酸によって完璧に絞られ、コルギンの個性を感じさせる土っぽいニュアンスが長い余韻となって続く。この複雑で何層にも様々な要素が重なり、凝縮した無い味わいの美しさは、息を呑むほど完璧な仕上がり。

ナンバー・ナイン・エステート ワイナリーと畑を畑上から望む

畑には開墾しなければ巨大な火山岩が埋まり、自然には樹がほとんど生えない荒地である。



ティクソン・ヒル・ヴィンヤード

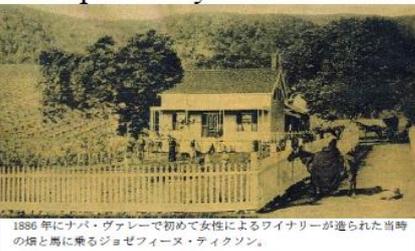
カベルネ・ソーヴィニオン

ナパ・ヴァレー

2019 Tychson Hill Vineyard Cabernet Sauvignon

Napa Valley 小売価格 125,000 円(税別)

セント・ヘレナ市街地の少し北西、スプリング・マウンテンの裾野に位置する 1.2ha 地所は 1881 年にナパで初めての女性オーナー「ジョゼフィーヌ・ティクソン女史」により植樹され、ティクソン・セラーズとしてワインが造られた歴史的な畑である。禁酒法時代には葡萄は抜かれ、その後幾つかの区画に分けられ、何人かの違うオーナーが所有したが、1997 年にアン・コルギンが 1.2ha の区画を獲得しジョゼフィーヌに敬意を表して「ティクソン・ヒル」と命名。2000 年が初ヴィンテージ。その後改植を行い、2007 年に丘上部の 0.4ha を、2014 年に一番南側の 0.8ha を取得(現在 2.4ha)。何となくこの畑の特徴は土壌にあり、ナパ・ヴァレーでは珍しいエイケン火山性土壌に、赤褐色の石や黒曜石を含む風化した火山岩や堆積土壌の複合でとびぬけて薫り高いアロマを授ける。朝日を享受する東向きの斜面にあり、極めて優れたコルギンが目指すワインの特徴を表現。味わいは凝縮した力強さとエレガンスを兼ね備える仕上がり。極めて優れた様々なアロマが幾重にも重なる。クレーム・ド・カシス、燻したベーコン、土や鉱物のニュアンス、ブラックベリーや切りたての生花のアロマが鼻腔や舌を刺激する。まるで余韻が長く続き、華やかなアロマと味わいが何度も繰り返して押し寄せる「宝石箱の様なワイン」とアン・コルギンは表現する。2014 年に取得した区画を含む 0.9ha の「Josephine's Hill ジョゼフィーヌ・ヒル」と呼ばれる北向きのスプリング・マウンテンに繋がる斜面の区画は涼しさと厳しい斜面に植わるストレスから長いハンギングタイムが取れる。この区画が近年ブレンドに加わったことにより深い味わいのニュアンスを更に加味している。



1886 年にナパ・ヴァレーで初めて女性によるワイナリーが造られた当時の畑と馬に乗るジョゼフィーヌ・ティクソン。

2019 年ヴィンテージ・コメント

2019 年は前年の 2018 年と同じように素晴らしいヴィンテージとなった。冬に十分な雨が降り 5 月まで続き、葡萄の樹は生き生きと成長したが、湿気も多かった為、枝の伸びと葉と葉の間隔を空けて風通しを良くする調整が重要となった。十分な雨と順調な夏の気候が葡萄の成長を助け、通常であれば多くの房と大きな果実を付けることになるが、コルギンの栽培管理チームのたゆまぬ努力により、房の数を調整し、果実が大きくなりすぎるのを管理し、小ぶりで凝縮した果実になるよう促した。9 月は非常に順調な気候が続く葡萄はゆっくりと成熟し、10 月中旬には夜も日中も気温が下がりが、フレッシュで酸をキープし、味わいも香りも十分に凝縮した素晴らしい果実を収穫できた。このヴィンテージは凝縮したシルクの様な口当たりのタンニンが特徴ながら、中心にはしっかりととした力強さを秘めている。若いうちも十分にこのヴィンテージのポテンシャルを楽しめ、長い瓶熟が果実の味わいに更なる複雑さと深みを加味していく。

ワインコメント/ ワインメーカー・アリソン・トージア女史のコメント

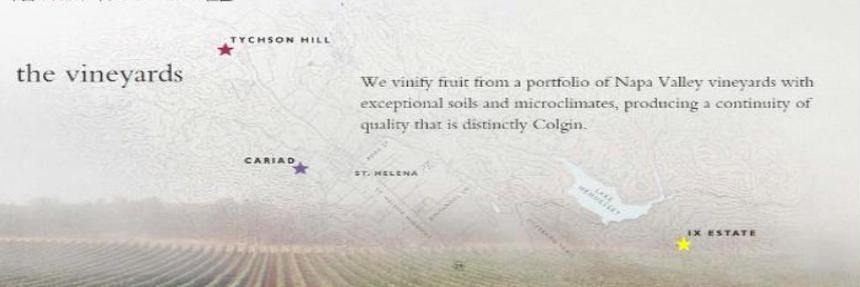
100% Cabernet Sauvignon 2019 年のティクソン・ヒルは、生き生きとしたアロマ、ミネラル、果実が完璧な構成を示し、土地の個性を語る紛れもない説得力を備えています。クラシックなカベルネ・ソーヴィニオンの味わいを中心に、黒色ベリー、ダークチェリー、とろけるチョコレート、鉱物的なニュアンスが円形のようにバランスして表現されている。絹のようなタンニンが幾層に分かれていながら滑らかな口当たりが、ほのかな甘みと酸みの両方が優れたフィニッシュへと導く。決して重くならず、口当たりの密度がきっちり充実し、口の中で踊るように拡散していく。

Parker Point 100P (Wine Advocate #257 Oct. 2021) by Lisa Perrotti-Brown/リサ・ペロッチー・ブラウン 幾重にも広がる香りと味わいの要素が完璧なエレガンスをまとう。

右上の写真と同じように再建した建物と畑を上から撮影



下図の★がティクソン・ヒルの位置



「カリアド」 2019 “CARIAD”

小売価格 125,000 円(税別)

「カリアド」とはウェールズの言葉で、「愛=LOVE」を意味する。

ボルドー・スタイルのこのワインは、セント・ヘレナの市街地から西側にあたるマヤカマス山へのなだらかな斜面(斜度 30%)に位置するマドロナ・ランチ・ヴィンヤードが主体となっている。石ころが多い、かつての川底の土壌で水捌けがよく、土や石のニュアンスが表れる。

品種は、カベルネ・ソーヴィニヨン、メルロ、カベルネ・フラン、プティ・ヴェルド。

(2019VTGは Cabernet Sauvignon 62%, Cabernet Franc 25%, Petit Verdot 7%, Merlot 5%)

味わいは、完全にクラシックスタイルの外観を形成し(これこそコルギンの代名詞たるものである)、内包するものは、過剰なほどの鮮やかなアロマ、官能的なアタックが口中に広がり、非の打ち所のないバランスと他に例を見ないほどの長い余韻。名前に負けない魅惑的なワインに仕上がっている。

2019年ヴィンテージ・コメント

2019年は前年の2018年と同じように素晴らしいヴィンテージとなった。冬に十分な雨が降り5月まで続き、葡萄の樹は生き生きと成長したが、湿度も多かった為、枝の伸びと葉と葉の間隔を空けて風通しを良くする調整が重要となった。十分な雨と順調な夏の気候が葡萄の成長を助け、通常であれば多くの房と大きな果実を付けることになるが、コルギンの栽培管理チームのたゆまぬ努力により、房の数を調整し、果実が大きくなりすぎずを管理し、小ぶりで凝縮した果実になるよう促した。9月は非常に順調な気候が続き葡萄はゆっくりと成熟し、10月中旬には夜も日中も気温が下がり、フレッシュで酸をキープし、味わいも香りも十分に凝縮した素晴らしい果実を収穫できた。このヴィンテージは雑目のないシルクの様な口当たりのタンニンが特徴ながら、中心にはしっかりとした力強さを秘めている。若いうちも十分にこのヴィンテージのポテンシャルを楽しめ、長い瓶熟が果実の味わいに更なる複雑さと深みを加味していく。

ワインメーカー/アリソン・トージア女史のコメント

2019年のカリアドは果実の本実の味わいが素直に表現され、土壌の個性がワインに反映される結果に驚きと尊敬の念を感じる。ブラックベリー、チェリー、ブラックカントなどのダークフルーツに加え、土のニュアンスとスパイスの壮年で圧倒的なアロマが混ざり合う。味わいにはまるで柔らかい肉のようなジュシーさがあり、きめ細かく磨かれたタンニンが口中を溶かしてしまうよう。ダークチョコレートとミントの香りがフィニッシュまで続く。クラシックでありながらモダンでもある2019年は、洗練された魅力が満載。

Parker Point 99+ (Wine Advocate #257 Oct. 2021 by Lisa Perrotti-Brown) 通常よりやや多いカベルネ・フランが2019ヴィンテージの個性と相まって輝きを増している。



マドロナ・ランチ



the vineyards

We vinify fruit from a portfolio of Napa Valley vineyards with exceptional soils and microclimates, producing a continuity of quality that is distinctly Colgin.

輸入・販売 株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161 FAX:03-5829-6171

「ナンバー・ナイン・エステイト」 シラー ナバ・ヴァレー 2019 “IX Estate” Syrah Napa Valley

小売価格 65,000 円(税別)

コルギンのシラーは、自社畑のナンバー・ナイン・エステイトにある4つの区画から造られている(それぞれ0.4haずつ、計1.6ha)。Syrah 100% 4つの区画はそれぞれ違った特徴を備え、クローンと台木のコンビネーションもそれぞれ土壌や気象条件に合わせて最良のものを選んで植樹されている。葡萄も全く違う個性が表現されるので、最終的なブレンドをするまで、4つは別々に醸造される。

味わいは、特に最初にグラスから立ち上がるオレンジの花の香りが顕著で、アタックからはパルマ・ハムのような少し塩分が感じられ、鴨のロースト、ダーク・チョコレートなどの味わいが次々と現れる。酸が全体を引き締め、決して濃いだけのカリフォルニア・シラーに留めず、最初のオレンジの香りが、最後の余韻にはマーマレードの様なニュアンスに変化していく。

新しいヴィンテージでも一時間前のデカンタで十分にその味わいが開き、今飲んででもその魅惑的な香りに打ちのめされる。また、硬いタンニンとがっしりした厚い味わいの凝縮から、10年以上の熟成も十分に楽しむことができる。

2019年ヴィンテージ・コメント (ポール・ロバーツ社長)

2019年は前年の2018年と同じように素晴らしいヴィンテージとなった。冬に十分な雨が降り5月まで続き、葡萄の樹は生き生きと成長したが、湿度も多かった為、枝の伸びと葉と葉の間隔を空けて風通しを良くする調整が重要となった。十分な雨と順調な夏の気候が葡萄の成長を助け、通常であれば多くの房と大きな果実を付けることになるが、コルギンの栽培管理チームのたゆまぬ努力により、房の数を調整し、果実が大きくなりすぎずを管理し、小ぶりで凝縮した果実になるよう促した。9月は非常に順調な気候が続き葡萄はゆっくりと成熟し、10月中旬には夜も日中も気温が下がり、フレッシュで酸をキープし、味わいも香りも十分に凝縮した素晴らしい果実を収穫できた。このヴィンテージは雑目のないシルクの様な口当たりのタンニンが特徴ながら、中心にはしっかりとした力強さを秘めている。若いうちも十分にこのヴィンテージのポテンシャルを楽しめ、長い瓶熟が果実の味わいに更なる複雑さと深みを加味する。

ワインメーカー/アリソン・トージア女史のコメント

2019年は、特徴的なオレンジの皮のニュアンス、スミレ、料理用スパイス・セージやタラゴンが鮮やかに香り立ち、タップナード(オリブやニンニクを使ったペースト)やパーベキューソース、薫した茶葉などの香ばしいニュアンスが含まれ、森林の香りや鉄分を感じさせる土壌からくるミネラル感を際立たせている。絹のように滑らかで包み込むような口当たり、非常に繊細なタンニン、食事と共に楽しみたい旨味がとても魅力的である。

Parker Point 98+ (Wine Advocate end of Oct. 2021) by Lisa Perrotti-Brown/リサ・ペロッチ・ブラウンのコメントより

深いガーネット・パープルの色調を持ち、チョコレートで覆われたようなチェリー、マルベリー、プラムの華やかな香りが立ち上がる。ブークガルニ、砂糖漬けスミレ、タールとバラの豪華な香りに続いて、四川胡椒(花山椒)が深い、濃くない葉巻の香りが広がる。味わいはリッチでフル・ボディ、美しく丸みを帯びたタンニンと爽快なフレッシュさ、そして多くの香りが魅惑的な持続性をもって続くのがこのワインの特徴。香り高さは驚きに値する。まるでオペラの歌姫のように華やかなワイン。



輸入・販売: 株式会社中川ワイン TEL: 03-5829-8161 FAX: 03-5829-6171

